

ポリオプラスソサエティーの現状等



国際ロータリー第2820地区
ロータリー財団委員会
関 康彦(水戸RC)

「ポリオ」という病気

きゅうせいはいはくずいえん

- 1.ポリオ（急性灰白髄炎）は非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子ども（約90%）ですが、成人でも感染しうります。
- 2.日本では『小児まひ』と呼ばれ1960年には患者5000人、1981年以降は予防接種により感染者はいません。
- 3.神経細胞が破壊された場合、重篤な後遺症（骨格の変形、関節の拘縮、運動障害）を生じることもあり、呼吸筋の麻痺で死に至ることもあります。
- 4.特異的な**治療法は無く、ワクチンのみが予防法**、他の多くの疾病と異なり「**人から人にしか感染しない為、ポリオは根絶可能**」なウイルスです。

ポリオプラスとは

ポリオワクチンと併せ、ハシカ、ジフテリア、結核、破傷風、百日咳など予防も同時に行うことから『プラス』

公衆衛生が予防の上で大切、現地では汚水が流入する水源を生活用水とし利用しています。恒久的に利用できる井戸の整備なども行っています。

ロータリーでは根絶の認定が達成されるまで、**国際ロータリーのすべてのプログラムの中で最優される第一目標**です。

最終的に根絶が証明されるまで、ロータリアンが、常に最新情報を把握し、活動に関与していくことが大切です。

ポリオの現状1

- ・インドで根絶できた
政府が本気になった

2014年3月27日WHO根絶宣言

運営レベルでの適切な行政活動につながる
技術支援を提供できる効果的なシステムがあった
タイムリーな是正措置の指針となる
インフルエンサーの活躍
集団的な行動につながりました



ポリオの現状2

インドで根絶できたことをパキスタン・アフガニスタンで行っています

しかし、宗教上の理由や戦争や情勢不安な国はワクチンに対する根強い不信感があり予防活動はとても難しい

パキスタンでは、イスラム過激派組織などが、SNSで「ワクチンの接種は、イスラム教徒を不妊にするための西側諸国の陰謀である」などの誤った情報を流し、人々に大きな影響を与えています

ポリオの現状

1988年以来、全世界のポリオの症例は99.9%減少しています。現在もポリオが常在する国は、アフガニスタンとパキスタンの2カ国のみとなっています。

アフガニスタン

9

野生型ポリオウイルスによる

発症件数

2024年:25

2023年:06

2022年:02

2021年:04

パキスタン

30

野生型ポリオウイルスによる

発症件数

2024年:74

2023年:06

2022年:20

2021年:01

※根絶直前は僻地に入る為感染者増加する傾向にあります。

(2025年9月19日現在)

SPOT
LIGHT

特効薬のない感染症 ポリオ
パキスタンで急増の背景は



NHKプラス 過去1週間分を配信中 ▲

アフガニスタン

21

カイバル・パクトUNKワ州

1

イスラマバード首都圏

パキスタン

1

16年ぶりに感染確認

パンジャブ州

27

バロチスタン州

21

シンド州

2022年パキスタン史上最悪の洪水
治安悪化で人々が移動しウイルス拡散

2024年ポリオ感染件数

最新情報

最新情報はこちらから ↓

#エンドポリオ



POLIO GLOBAL ERADICATION INITIATIVE

[Who We Are](#) [About Polio](#) [What We Do](#) [Donate](#)

WHO発表資料

Data as of 24 11 2025

Global Wild AFP cases and environmental samples
2018-2025



Source Period Year	Wild virus type 1 confirmed cases										Date of most recent virus	Wild virus type 1 reported from other sources ²									
	Full year total											Full year total									
	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2024	2025	2018		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2024	2025		
Afghanistan	21	29	56	4	2	6	25	25	9	03-Oct-2025	86	66	43	1	22	62	124	111	64		
Pakistan	12	147	84	1	20	6	74	66	30	19-Sep-2025	139	391	438	65	41	127	648	564	575		
Germany																			1		
Islamic Republic of Iran												3									
Malawi				1						19-Nov-2021											
Mozambique					8					10-Aug-2022											
TOTAL (TYPE 1)	33	176	140	6	30	12	99	91	39		225	460	481	66	63	189	772	675	640		
Tot. in endemic countries	33	176	140	5	22	12	99				225	457	481	66	63	189	772				
Tot. in non-end countries				1	8							3									
No. of countries (infected)	2	2	2	3	3	2	2				2	3	2	2	2	2	2				
No. of countries (endemic)	2	2	2	2	2	2	2				2	2	2	2	2	2	2				
Total Female	18	72	59	2	10	4	43				2	3		1			2				
Total Male	15	104	81	4	20	8	56					8					5				

Countries in yellow are endemic.

¹ Data reported to WHO HQ on week 48 2025

² Wild viruses from environmental samples, selected contacts, healthy children and other sources

お金の話

予防接種にかかる費用について

日本では、不活化ポリオワクチン(IPV)の接種費用は
1回あたり 5,450円 です。

2024年に生まれた 68万人の子どもが4回接種することがルールのため、日本だけで **毎年およそ150億円** の費用が必要になります。

しかし、世界が協力してポリオを根絶できれば、これまで予防に使っていた費用を別の重要な取り組みに回すことができます。

ポリオに関する事実



01

ポリオに最も感染しやすいのは5歳未満の子ども

02

治療法はないが、ワクチンで予防が可能

03

野生型ポリオウイルスの常在国はわずか2カ国

04

1988年以来、発症数は99.9%減少

05

ポリオを永久になくさない限り、感染リスクは全世界の子どもに

ポリオ根絶の達成に向けて ポリオプラス・ソサエティ (PPS)

ご存じの通り国際ロータリーの最優先事項は「ポリオの根絶」です。GPEI（世界ポリオ根絶推進活動）では、2026年を根絶目標年としており、根絶までもう少しというところまでまいりました。

然しながら、自然災害、政治紛争などの厳しい状況下で根絶資金の確保は今まで以上に大切になっております。

ポリオ根絶までの活動資金の安定と増加にご協力いただくために、多くの方々にご参加をお願いします。



ポリオプラス・ソサエティ (PPS)の始まり

ポリオプラス・ソサエティの始まりは2016年にアメリカオレゴン州のロータリークラブの考案によるものでした。
このプログラムを始めると間もなく他の地区でもPPSプログラムの導入を始めました。
その後、世界の各地区でこの活動に広がってます。

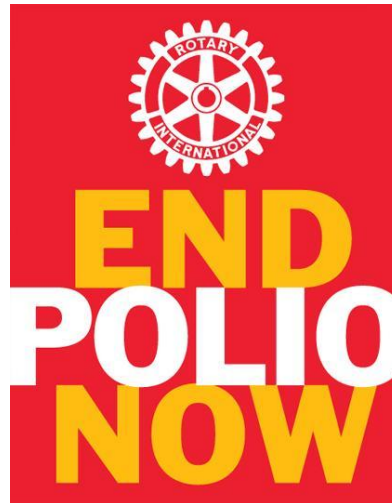
当地区でも昨年より会員の募集を始めたところであります。

PolioPlus
SOCIETY

ポリオプラス・ソサエティ (PPS)とは

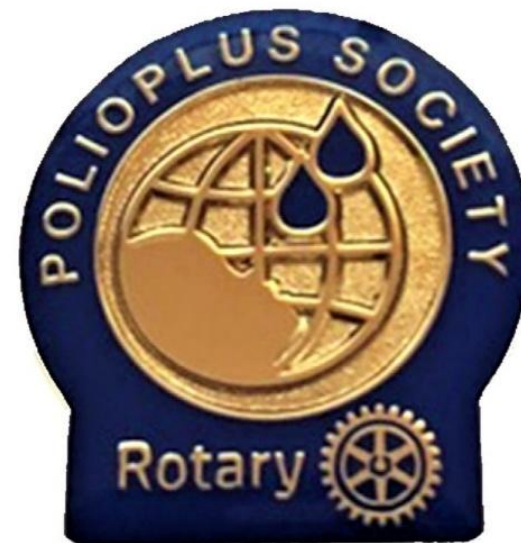
このプログラムは、あと少しとなったポリオ根絶までの活動資金の安定と増加にご協力いただくため、地区単位でポリオ根絶まで、

毎年100米ドルを「ポリオプラス」にご寄付いただくロータリー会員の参加・登録を進めるものです。



ポリオプラス・ソサエティ (PPS)会員について

- 寄付は、ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、大口寄付者の認証の対象となります。
- 会員には、その貢献を称える襟ピンが贈呈されます。
- 会員には、認証状が贈呈されます。
(地区大会にて表彰)



2820地区内のPPS会員数 (2025年10月26日現在)

分区	クラブ名	PPS会員数(人)		
		24-25	25-26	計
第1	日立	5	0	5
	日立南	2	0	2
	北茨城	4	2	6
	高萩	4	0	4
	日立港	1	0	1
	日立北	1	0	1
	日立中央	1	0	1

分区	クラブ名	PPS会員数(人)		
		24-25	25-26	計
第3	水戸	5	0	5
	笠間	0	0	0
	水戸西	5	3	8
	水戸南	6	3	9
	友部	1	0	1
	水戸東	6	1	7
	水戸さくら	1	0	1
	水戸好文	1	1	2

分区	クラブ名	PPS会員数(人)		
		24-25	25-26	計
第5	下館	4	0	4
	結城	3	0	3
	真壁	0	0	0
	下妻	3	0	3
	しもだて紫水	2	2	4
	筑西きぬ	5	1	6

分区	クラブ名	PPS会員数(人)		
		24-25	25-26	計
第7	竜ヶ崎	1	0	1
	水海道	1	11	12
	取手	0	0	0
	牛久	1	0	1
	守谷	1	0	1
	竜ヶ崎中央	0	0	0

分区	クラブ名	PPS会員数(人)		
		24-25	25-26	計
第2	那珂湊	0	0	0
	常陸太田	1	0	1
	大子	0	0	0
	大洗	0	0	0
	勝田	1	0	1
	東海那珂	2	0	2
	ひたちなか	1	0	1

分区	クラブ名	PPS会員数(人)		
		24-25	25-26	計
第4	古河	1	0	1
	境	1	0	1
	岩井	0	0	0
	古河東	1	0	1
	古河中央	1	0	1
	茨城Eクラブ	2	0	2

分区	クラブ名	PPS会員数(人)		
		24-25	25-26	計
第6	石岡	0	0	0
	土浦	5	0	5
	土浦南	12	0	12
	つくば学園	1	9	10
	石岡87	0	0	0
	土浦中央	0	0	0
	つくばシティ	6	1	7
	阿見	0	0	0
	つくばサンライズ	2	0	2

分区	クラブ名	PPS会員数(人)		
		24-25	25-26	計
第8	鉾田	2	0	2
	鹿島臨海	1	0	1
	玉造	9	0	9
	波崎	1	0	1
	鹿島中央	1	0	1

合計 149 名



ポリオプラス・ソサエティ(PPS)の申し込み方法

Rotary 第2820地区

トップページ / 2025-26年度 クラブ手続き書式ダウンロード

クラブ&分区分 地区委員会 R I & 2820地区

2025-26年度 クラブ手続き書式ダウンロード

ページ内リンク: ガバナー事務所関係 ロータリー財団関係 New 三大セミナー関係資料 研究会関係資料 New RI会長・ガバナー関係 公式ロゴ等 ロゴほかの運用指針 End Polio Now インターアクト・ローターアクト

2025-26年度報告書式 (ガバナー事務所関係)

ご提供するファイル形式: Microsoft office 2007以降に対応したファイル形でご提供いたします。
(Wordファイルは拡張子.docx、Excelファイルは拡張子.xlsx)

提供元	書類名	ファイル名	ファイル種	サイズ
ガバナー事務所	会員増強報告書式	kalin-zokyo-hokoku2025-26.xlsx	XLSX	58KB
	新入会員報告書式 (月信掲載用)	new-member.docx	DOCX	44.5KB
	会員計報のご連絡	fuho.docx	DOCX	31.8KB
	例会変更報告書	reikai-henko.xlsx	XLSX	15.2KB

2025-2026年度 ロータリー財団関係 (2025.07.03更新)

提供元	ファイル名、概要	ダウンロードファイル
ロータリー財団委員会	ポール・ハリス・ソサエティ (PHS) 入会ご案内 New	<ul style="list-style-type: none"> PHS入会ご案内(Wordファイル: 25-26phs_full.docx) PHS入会ご案内(PDFファイル: 25-26phs_full.pdf)
ロータリー財団委員会	ポリオ・プラス・ソサエティ (PPS) 入会ご案内 New	<ul style="list-style-type: none"> PPS入会ご案内(Wordファイル: 25-26pps_full.docx) PPS入会ご案内(PDFファイル: 25-26pps_full.pdf)
ロータリー財団委員会	審査用申請書	審査用申請書(Excelファイル: sinei2025.xlsx)
ロータリー財団委員会	MOU覚書内容	MOU覚書内容(PDF版: 02mou2024.pdf)
ロータリー財団委員会	MOU覚書 ご提出用	MOU覚書 ご提出用(PDF版: 25-26mou-teishutsu.pdf)
ロータリー財団委員会	補助金振込先指定書	補助金振込先指定書(Excelファイル: furikomi25-26.xlsx)
ロータリー財団委員会	地区補助金仮申請書	地区補助金仮申請書(Excelファイル: sinei2025.xlsx)
ロータリー財団委員会	地区補助金ガイドライン	地区補助金ガイドライン(pdfファイル: 03localsubsidy.pdf)

① <https://www.rid2820.jp/download.html> へアクセス

② こちら から書類をダウンロード

③ 必要事項 を記入

国際ロータリー第2820地区 会員各位

2025年7月1日

END POLIO NOW

国際ロータリー第2820地区 2025-26年度 ガバナー 藤戸 隆海
ガバナーエレクト 藤本 孝雄
ロータリー財団統括委員長 大野 浩典

ポリオ・プラス・ソサエティ (P P S) 入会ご案内

皆様、昨年度ご選択のことと拝見申し上げます。皆様ご存じの通り、国際ロータリーの最重要事項は「ポリオの根絶」です。G P E I (世界ポリオ根絶推進活動) では、2024 年を最終目標年としており、継続して努力しようというところまでまいりました。思いながら、自然災害、経済不景気などの厳しい状況下で皆様資金の確保は今まで以上に大変になっております。ポリオ根絶までの活動資金の確保と増加にご協力いただくために、多くの皆様にご参加をお願いするものです。

「ポリオ・プラス・ソサエティ(The Polio Plus Society)」(P P S)、アロプラは、すでに多くの国々のロータリー会員が参加しており、毎年 100 米ドルをロータリー財団の「ポリオプラス基金」への寄付をお約束いただけるロータリー会員に依頼していただき、皆様とソサエティメンバーのボランティアを巻き取っていただくものです。多くの会員の皆様はこのプログラムをご依頼いただきまして、ご参加願いますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。 敬具

注記
・寄付は、ポール・ハリス・フレンド、マルギブル・ポール・ハリス・フレンド、大口寄付者の認証の対象となります。
・会員には、その貢献を称えるバッジが贈呈されます。
・各クラブに制限・基金あり
・会員には、認証状が贈呈されます。(地区大会にて表彰)
・入会方法
継続ポリオ・プラス・ソサエティ (P P S) 申込書にご記入いただき、地区ガバナー事務局にメールか FAX にて送信下さい。

ポリオ・プラス・ソサエティ (P P S) 申込書

私は、毎年、個人税に 100 米ドル以上を、ポリオプラス基金に寄付し、ポリオ・プラス・ソサエティ会員となり、ポリオの根絶に貢献することを希望します。

内、私の氏名を P P S 会員として公表することに同意します。(R R R の R R R)

姓 名 (日本語)	年 月 日
氏 名 (ローマ字)	
会 員 I D	
ロータリークラブ名	ロータリークラブ
ク ラ ブ I D	
住 所	
T E L	
F A X	
E メールアドレス	

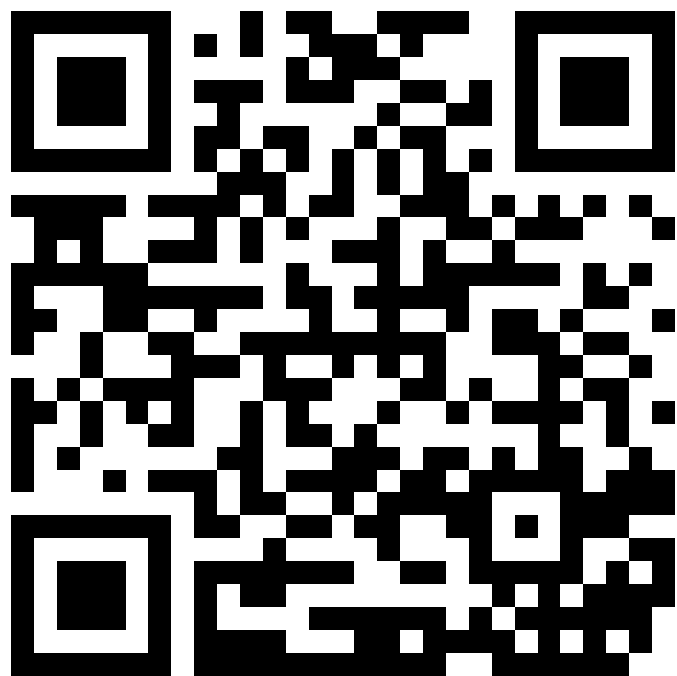
この申込書は地区ガバナー事務局に一送付下さい。
問合せ 2025 地区ロータリー財団 事務局
Email : hidehiro.kimura@axa.co.jp (つくば事務所 C)
申込用紙は 2025 地区ガバナー事務局サイトからダウンロードできます。

④ hidehiro.kimura@axa.co.jp へ書類を添付して送信

ポリオ・プラス・ソサエティ にご入会ください

申込はこちらのQRより↓
(ガバナー事務所HP)

The
Rotary
Foundation



ロータリー財団では資金の88%が事業費に
費やされていることから表彰を受けております。

毎年100米ドルをロータリー財団の
「ポリオプラス基金」への寄付
(ポリオ根絶まで)



ロータリーの取り組み

1979年、ロータリーは、3-H（保健、飢餓の追放および人間性尊重）プロジェクトとしてフィリピンで600万人の子どもへの一斉予防接種を計画。費用70万ドル、5年間のプロジェクトを成功に収め、膨大な資金をかけた大規模かつ組織的な一斉予防接種が可能であることを世界に示しました。そして

**「ロータリーは、1985年に創設されたポリオプラスプログラムを通じて
“ポリオのない世界”というビジョンを初めて思い描きました」**

1988年にはロータリーとパートナーが世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）をスタートさせました。

世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）パートナー

- ・ **世界保健機関（WHO）「戦略担当」**

GPEIの実施と管理、各国保健省に技術面や運営面のサポートを提供。活動成果のモニタリング、戦略の立案。

- ・ **米国疾病対策センター（CDC）「ウイルス対策担当」**

疫学者、公共保健専門家、科学者を起用してポリオ流行について調査。ウイルスの種類と感染源を特定。

- ・ **UNICEF（国連児童基金）「予防接種担当」**

ワクチンの購入と分配。予防接種の効用に関する認識向上。UNICEFのフィールドワーカーは現地のヘルスワーカーやボランティアと共に予防接種を実施。

- ・ **ロータリー「アドボカシー担当」**

会員の持つ事業と専門職、ボランティアのネットワークを生かし、ポリオの認識向上、募金、地域社会の動員、政府や民間への支援の働きかけ（アドボカシー）を実施。これまでに100万人以上の会員がボランティア活動や募金を通じてポリオ根絶を支援。

- ・ **ビル&メリンダ・ゲイツ財団「リソース担当」**

民間団体としてポリオ根絶に最も多額を寄付。技術面でのリソースも提供。

ご清聴ありがとうございました

私の世代は、ポリオの悲惨さをこの目で見てきました。ポリオの撲滅があと少しで実現できると知ったとき、私もこの取り組みにぜひ参加したいと思いました。これほど壮大な目標を達成できる機会はめったにありません。

Angelique Kidjo, (シンガーソングライター)